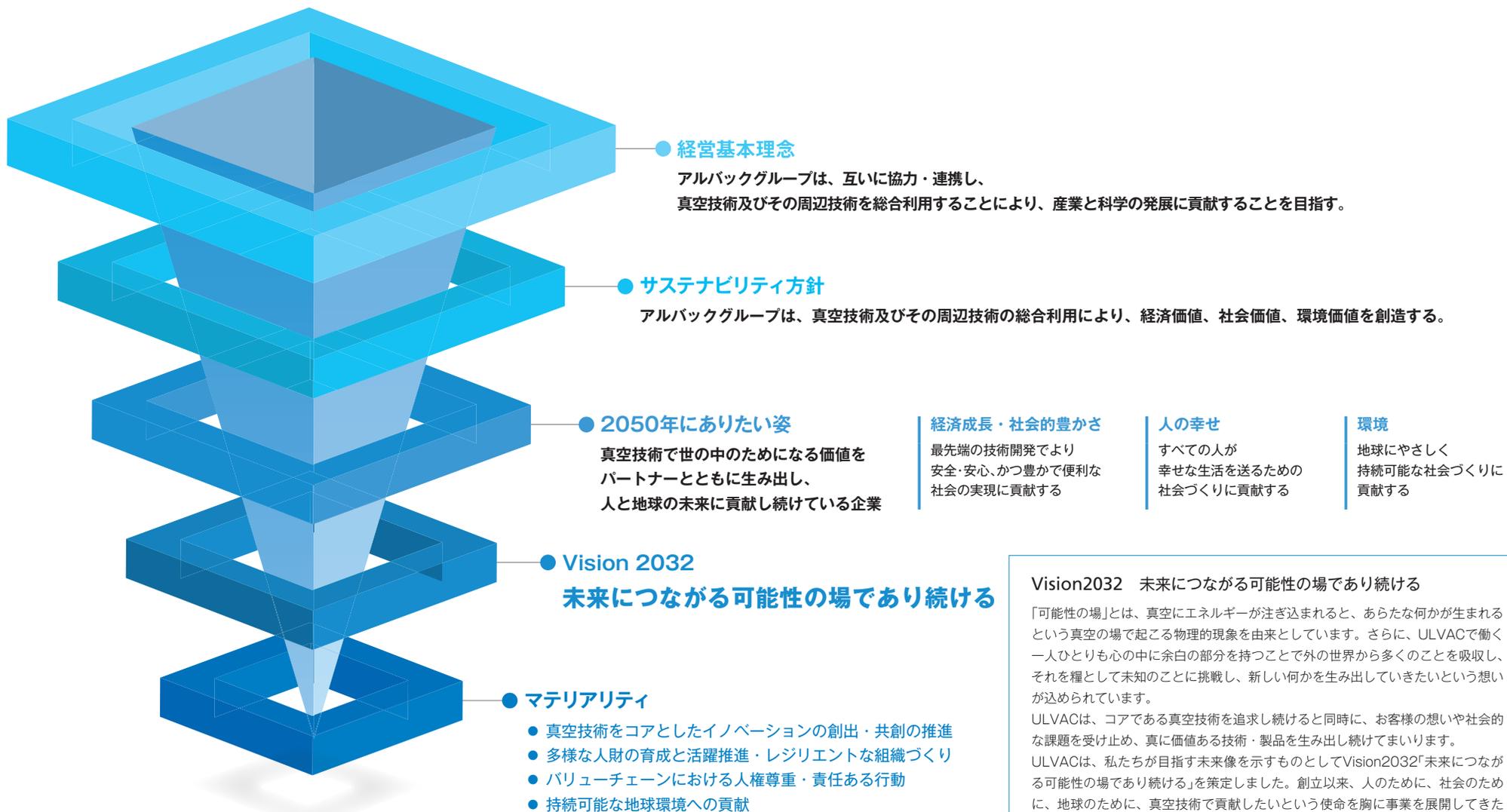


# ULVACのサステナブル経営

あらゆる事業活動の根底には、経営基本理念である「真空技術及びその周辺技術を総合利用することにより、産業と科学の発展に貢献することを目指す」という考えがあります。私たちは、パートナーとともに真空技術で最先端技術を追求し、社会的責任を果たしながら真空技術で持続可能な社会づくりに貢献していきます。



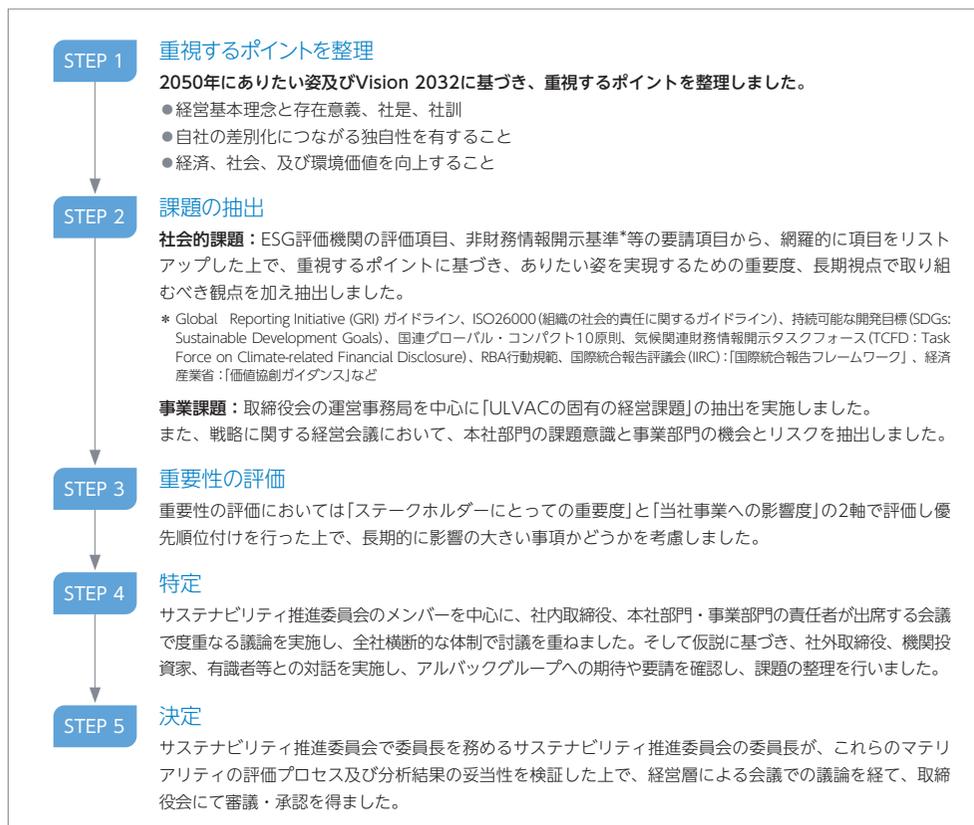
詳細 [▶P.14-15](#) マテリアリティに関する取り組み

## マテリアリティの特定プロセス

### 基本的な考え方

マテリアリティの特定プロセスにおいては、内部での検討・議論を深めるとともに、社外取締役、社外有識者、機関投資家等と対話を重ねてきました。そこで得られた示唆の結果として、マテリアリティを企業価値向上の観点からより幅広く捉え、「2050年にありたい姿及びVision 2032の実現に向けたULVACの固有の経営課題」として位置付けました。

### 特定プロセス

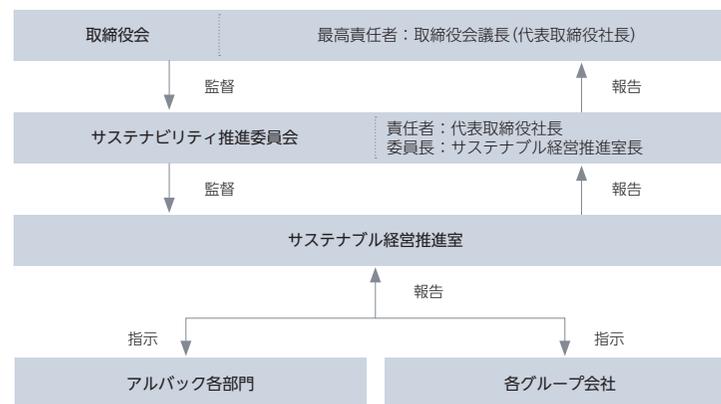


## 推進体制

詳細 ▶ WEBサイト>>サステナビリティ>アルバックのサステナブル経営>アルバックのサステナビリティ

社長直轄のサステナブル経営推進室を設置し、グループ全体でサステナビリティの取り組みを推進しています。年2回開催されるサステナビリティ推進委員会では、社内取締役、社内監査役、関連部門の執行役員及び委員長が指名する部署長が参加し、サステナビリティに関する目標設定・進捗管理、方針の検討、重要テーマへの取り組みなどについて討議を行っています。重要案件については、取締役会の決定した経営方針に基づいて重要な業務執行に関連する事項について審議を行う機関である経営会議等において、適宜報告や決議を実施しています。また、サステナブル経営推進室長は、サステナビリティ推進委員会の内容及びグループ全体のサステナビリティの取り組みについて取締役会に報告し、取締役会は業務執行状況を的確に把握し、適切に監督しています。

### 推進体制図



サステナビリティ責任者  
環境管理責任者  
理事  
サステナブル経営推進室長

衣川 正剛

ULVACは、グローバル市場からのESG要請を企業価値向上に直結する重要課題と捉え、マテリアリティに基づく重点施策を全社で推進しています。

とりわけ環境負荷低減は製造メーカーとして企業の持続性を支える重要テーマと位置付け、取り組みを強化しています。真空技術の総合利用を通じて経済・社会・環境価値の創出を図り、持続可能な未来と企業価値向上の両立を目指してまいります。